

災害時通訳ボランティア研修（英語）



近年、日本各地で地震や台風などによる自然災害が多発する中、日本語力が十分でなかったり、災害に関する知識がなかったりする外国人住民は、災害弱者になる可能性が高いことが指摘されています。こうした状況を踏まえ、香川県では、多言語での情報提供など、災害時に外国人住民への支援を行うための災害多言語支援センターの開設訓練を毎年実施しています。

今回の研修では、同訓練の一環として、災害時に外国人住民とコミュニケーションをとり、支援にあたる通訳ボランティアを育成するための実践的な訓練を行います。

参加
無料

日 時 平成30年11月4日（日） 13:00～16:30

場 所 香川国際交流会館（アイパル香川）3階会議室（第4～第6会議室）

内 容 第1部 災害時語学サポーターの役割・注意点等について

通訳ボランティアとして活動する上での心構えや注意点、また、求められる能力やスキルなどについて、災害時の通訳場面を取り上げたケーススタディなどを通して学びます。

第2部 通訳トレーニング

シャドーイングやクイック・レスポンス、ノート・テーキングなどの基礎的な訓練の後、外国人住民と一緒にロールプレイを行います。

講師：飯田 奈美子（いいた なみこ）さん [多言語コミュニティ通訳ネットワーク 共同代表]
（元京都市福祉事務所中国語通訳者 社会福祉士）

対人援助場面における通訳環境が整っていないことに問題意識を持ち、多言語コミュニティ通訳ネットワークを設立し、コミュニティ通訳の勉強会を開催している。また、立命館大学大学院先端総合学術研究科博士後期課程を修了（学術博士）し、現在は、コミュニティ通訳についての研究を行っている。京都市行政通訳・相談事業（京都市外国籍市民行政サービス利用等通訳・相談事業）のコーディネーターも務める。

対 象 以下のA～Cのいずれかに該当し、かつ、どんな状況でも適切なコミュニケーションがとれるレベルの英語運用能力を有する方。（英語力の目安 英検準1級、TOEIC730点程度～）

※日本語のノン・ネイティブ話者については、日本語での講義が十分に理解できること。

- A. 当協会通訳ボランティア登録者
- B. 当協会外国語講座受講者
- C. 日本語サロンや地域日本語教室のボランティア

定 員 30名程度（定員になり次第締め切ります）

申込方法 参加申込書に必要事項を記入の上、**10月27日（土）**までにFAX等でお送りいただくか、アイパル香川までご持参下さい。

災害時通訳ボランティア研修 参加申込書

氏名	(フリガナ)	住所	
電話		E-mail	
参加資格 ※複数回答可	A () B () C ()		
英語に関する資格	英検 () 級 TOEIC () 点 その他 ()		
通訳経歴 ※経験がある方は、ご記入ください。			

【お問合せ・お申込み先】（公財）香川県国際交流協会 災害時外国人支援事業担当

〒760-0017 高松市番町1-11-63 アイパル香川2階

TEL:087-837-5908 FAX:087-837-5903 E-mail:toroku@i-pal.or.jp

主催：香川県 受託団体：（公財）香川県国際交流協会